

2018年7月25日

<報道関係各位>

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2018年7月25日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先します。

## ギリアド・サイエンシズ ジョン・F・ミリガン CEO の退任を発表 - ミリガンCEOは2018年末まで職務を継続

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）は、本日、ジョン・F・ミリガン社長兼最高経営責任者（CEO）が28年にわたるギリアドでの勤務を終え、退任することを発表しました。取締役会が後任の選定を行う間、ミリガン社長兼CEOは2018年末まで同職に留まります。

ミリガン社長兼CEOは、次のように述べています。「私のキャリアの全期間を通じてギリアドで働いたことを誇りに思います。ギリアドは今や将来に向けて着実な歩みを進めており、取締役会と私は、今こそ新たなリーダーにゆだねる時期であるとの点で意見が一致しました。退任後はしばらく休息した後、新たな選択肢に向けて前進したいと考えております。」

ジョン・C・マーティン取締役会長は、次のように述べています。「ギリアドは、重篤な疾患に苦しむ世界の人々の生活を改善するというミッションを成功させるべく、正しい戦略を設定し、確固たるHIVフランチャイズ、業界最高レベルの細胞療法プラットフォーム、ならびに開発後期にあるNASH（非アルコール性脂肪肝炎）と炎症性疾患領域のパイプラインをもってこのミッションに取り組んできました。さらに、ギリアドには、今後も投資を継続し、企業にとって最も重要な研究開発パイプラインのさらなる拡充を行うリソースがあります。私たちは、さらなる成長の可能性をもつ企業として、ジョン・ミリガンが築いた基盤をさらに拡大し、未来に向けた壮大な目標を達成する新CEOを迎える予定です。」

ジョン・コーガンリードインディペンデントディレクター（Lead Independent Director）は、次のように述べています。「私は取締役会を代表して、ジョン・ミリガンの30年近くにわたる多大な貢献に感謝し、個人としてもビジネスパーソンとしてもきわめて誠実な態度で活動いただいたことを高く評価したく思います。」

私たちが後任者の選定を行う間、ジョンは、彼の長きにわたるギリアドへの貢献と経験をもって、ギリアドの全てのステークホルダーにとって円滑な移行を実現いただけると確信しております。」

ミリガン社長兼 CEO は、2018 年末に同職を退きます。また、マーティン取締役会長は、CEO、取締役会執行会長、取締役会会長を歴任後の適切なタイミングとして、新 CEO の着任をもって取締役を退任する意向を発表しました。

### **ギリアド・サイエンシズについて**

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオファーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす疾病を抱える世界中の患者さんのために治療の変革と簡略化をはかることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 以上で事業を行っています。

### **将来予想に関する記述**

本プレスリリースは、1995 年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、いくつかのリスクや不確定要素などの要因を含む場合があります。これらのリスクや不確定要素、その他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。本記述の内容は確定したものではありませんのでご注意ください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2018 年 3 月 31 日までの四半期のギリアド社四半期報告書（フォーム 10-Q）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###